

令和5年度 部の運営方針管理書

部 局 名	子ども部
部 局 長 名	星 範之
部の運営方針	<p>○我孫子市第四次総合計画基本構想の基本目標3「子どもと子育てにあたたかいまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進します。さらに、子ども・子育て支援事業計画を兼ねた「第四次我孫子市子ども総合計画」の進行管理を行い、乳幼児期の保育と教育や地域の子ども子育て支援策の充実を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次期子ども総合計画（令和7年度～令和11年度）の策定に向け、子ども・子育て支援に係るニーズ調査を実施するなど準備を進めます。 ・少子化対策として、結婚・妊娠・出産・子育て・子育てへの切れ目ない支援を推進していきます。 ・子育て支援拠点施設を核とし、妊娠期からを視野に入れ、孤立せず安心して生き活きと子育てができる環境づくりに努めます。また、保育園内に設置された子育て支援拠点施設と地域との連携をさらに密にすることで、地域の子育て力の向上を図り、多様な子育て支援事業を展開します。 ・「第三次我孫子市保育園等整備計画（改訂版）」に基づき、保育園や認定こども園・幼稚園等の認可定員や利用定員の管理に努め、待機児童ゼロを堅持し続ける体制づくりに取り組みます。 ・「我孫子市保育園等長寿命化計画」に基づき、公立保育園の安全及び衛生の確保をはじめとした維持管理を図ります。 ・市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。さらに、育ちと学びの接続を重視し、幼児期教育と小学校教育との連携を推進します。 ・「第二次放課後子ども総合プラン行動計画」に基づき、学童保育室とあびっ子クラブ、それぞれの事業の目的に沿って、子ども達の放課後が充実するよう施設の環境整備や質の向上に努めます。 ・「子ども家庭総合支援拠点」では、育児や家庭環境など子どもと家庭に関する相談や児童虐待の早期発見・早期対応に努めるとともに、関係機関との連携を強化し、支援を要する妊産婦等にも積極的に働きかけ指導・助言を行います。また、オレンジリボン運動の推進など児童虐待防止の啓発活動に取り組んでいきます。 ・いじめ問題に対しては、教育委員会と連携し「いじめ問題防止対策連絡協議会」を開催し、関係機関相互の連携強化を図り、いじめ防止等の対策を推進します。 ・子育てを応援するため、子ども医療費助成をはじめ子育て世帯に対する経済的な負担軽減を、引き続き推進します。 ・「第2期我孫子市子ども発達支援計画」に基づき、発達支援、家族支援、地域支援の充実と機能強化を図り、発達に支援が必要な子どもの乳幼児期からの一貫した支援体制作りを推進していきます。そのため「療育・教育システム連絡会」において、関係機関との連携を深め、早期発見からライフステージに応じた切れ目のない支援体制の構築を進めます。 ・発達に支援が必要な子どもが早期に適切な療育支援を受けられるよう、公平、適切、迅速に児童通所支援の利用決定を行うとともに、そのための相談支援体制の充実を図ります。 ・子どもたちの生きる力を育むため、子どもの自然体験・生活体験事業の実施や青少年育成団体の活動を支援します。

部 局 名	子ども部
部 局 長 名	星 範之
部の運営方針に対する総合評価	<p>令和4年度からスタートした第四次総合計画基本構想の基本目標の1つである「子どもと子育てにあたたかいまちづくり」や、まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の1つである「あびこで子どもを産み、育てたくなるまちづくり」に基づき、若い世代が我孫子を選び、移り住んでもらえるよう、また、これからもずっと住み続けてもらえるよう子育て・子育て支援施策を総合的に推進することを念頭に、部の運営方針に基づき、3課が各事業の適正な実施及び充実に遅滞なく取り組み、子育て・子育て支援施策の推進が着実に図れたと評価します。</p> <p>また、令和5年度は、原油価格・物価高騰等の影響を踏まえ、認定こども園、保育園、幼稚園等へ給食費及び光熱費にかかる経費についての一部補助や子育て世帯に対し、経済的支援として、生活支援特別給付金を給付するなど物価高騰対策にかかわる事業にも取り組みました。</p>

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 子ども課 子ども支援課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

部の運営方針に基づき、次のとおり取り組みます。

1. 子ども・子育て支援事業計画を兼ねた子ども総合計画を着実に推進します。
2. 子育てを応援するため、母子・父子家庭への支援、子ども医療費の助成、児童手当及び児童扶養手当等の適正な支給に努め、子育て世帯に対する経済的な負担軽減を推進します。
3. 「第二次我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画」に基づき、学童保育室とあびっ子クラブの一体的な運営と、保育環境の整備や職員の質の向上、処遇改善に努めます。
4. 子どもの成長や自立を促進するため、手賀の丘宿泊事業を実施すると共に、青少年相談員連絡協議会の活動を支援していきます。また、恒例となっているげんきフェスタ及び子どもまつりを市民団体と協力のうえ開催します。

2. 課の目標への取組結果

当初予定していなかった物価高騰を受けた「子育て世帯生活支援特別給付金」「子どもの成長応援臨時給付金」「我孫子市子どもみんなの給付金」の支給や令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響から中止した「手賀の丘宿泊事業」を含め、全取組を実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

次期こども総合計画策定に向けては、市民アンケート調査を実施し着実な計画策定の推進に繋ぐことができました。また通常の手当や助成に加え、物価高騰の影響を受けた子育て世帯への給付金支給を実施し、経済的な支援をすることができました。

学童保育室とあびっ子クラブは民間委託によりスタッフも確保でき、保育環境などの安定化を図ることができました。新型コロナの第5類移行に伴い手賀の丘宿泊事業も実施でき、子ども達の自立促進を図ることができました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

子ども医療費助成と高校生等医療費助成の統合や医療受給券とマイナンバーカードの一体化等、市民の利便性向上と業務の効率化を図れるよう、また学童保育室の利用増加に対応できるよう保育環境を整備するなど、引き続き事業を実施していきます。手賀の丘宿泊事業は7年度以降廃止し、青少年相談員協議会事業として移行できるよう調整していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子ども総合計画の策定及び進行管理
	担当部署名	子ども部 子ども支援課
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。
事務事業の目的 ・概要	子ども・子育て支援法及び次世代育成支援対策推進法に基づく我孫子市子ども総合計画を策定し、施策や事業が計画的・効率的に進められるよう進行管理を行います。 また、市長の諮問機関として我孫子市子ども・子育て会議を設置し、市民からの意見を計画推進に反映させます。	
関連する市の計画等	第四次我孫子市子ども総合計画	
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	子ども総合計画の進行管理	
	次期子ども総合計画策定に係る事前アンケート調査	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	83	0	令和4年度 (年度末時点)	1.40	0.07	
令和5年度	当初予算額	3,316	0	令和5年度	4月1日時点	2.20	0.11
	補正後予算額	3,316	0		年度末時点	2.20	0.09
	決算額	3,202	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	子ども・子育て会議の開催回数	回	目標値	3	4	5	5	4
			実績値	3	3	4		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	子ども・子育て会議を開催し、事業の進行管理を行うことで、各事業の実効性を確保することができました。 また、次期計画策定の基礎資料とするため、子ども・子育て会議などの意見を踏まえ、市民調査を実施しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	本事業は子ども・子育て支援事業及び重点事業の進行管理を行い、子ども行政を総合的に推進していくために必要不可欠な事業であるため、引き続き推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	放課後対策事業	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	保護者の就労や子育てを支援するため、児童が安全に安心して放課後を過ごせる学童保育室を運営していきます。		
関連する市の計画等	第四次我孫子市子ども総合計画 第二次我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画 我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画 第5次行政改革推進プラン (あびっ子クラブの登録料の見直し)		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	学童保育室の運営		
	学童保育室の整備		
	放課後児童支援員等処遇改善		
	指 二小学童保育室空調更新		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	学童保育運営業務委託 R5年度 171,250千円		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	261,935	0	令和4年度 (年度末時点)		2.00	29.66
令和5年度	当初予算額	312,787	0	令和5年度	4月1日時点	1.80	24.90
	補正後予算額	316,288	0		年度末時点	1.80	24.90
	決算額	307,205	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	学童保育室における事故報告件数	件	目標値	20	20	20	20	20
			実績値	28	18	15		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	子育て支援としての学童保育室の運営を安全に行うことができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	学童保育室の運営は、社会的にニーズが高く、また専門性を要求される事業です。現状通り児童の安全を第一に運営を行います。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子育てへの経済的支援	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	子育て家庭の経済的負担を軽減するため、児童手当の支給、子ども医療費の助成を行うほか、家庭環境に応じた各種支援を行います。		
関連する市の計画等	第四次我孫子市子ども総合計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	児童手当支給事業		
	子ども医療費助成事業		
	未熟児養育医療		
	ひとり親家庭の支援事業		
	ひとり親家庭等医療費助成事業		
	児童扶養手当支給事業		
	母子家庭等相談・自立支援事業		
	指 医療費助成制度拡大事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工		
				正職員	会計年度等	
令和4年度	決算額	2,566,081	0	令和4年度 (年度末時点)	6.40 / 2.99	
令和5年度	当初予算額	2,349,905	0	令和5年度	4月1日時点	7.20 / 2.15
	補正後予算額	2,557,255	0		年度末時点	7.20 / 2.15
	決算額	2,509,042	0			
	次年度へ繰越	0	0			

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	支援を必要とする者に対する適正助成率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	児童手当始め子育て世帯に対し適正に経済的支援を実施することができました。また物価高騰対応のため子育て世帯生活支援特別給付金等、臨時的な支援も実施しました。高校生等医療助成制度は受給券制度を実現し、利便性の向上も図りました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子育て世帯に対する経済的支援は少子化が進む中で不可欠であり、今後も国・県・市が一体となって推進していく必要があります。子ども医療費助成制度と高校生等医療助成制度の統合や受給券とマイナカードの一本化等、引き続き利便性向上に努めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの自主性を育むイベントの実施	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-4 心豊かにする体験・活動の推進	
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、地域に根差したさまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めるとともに、青少年の健やかな育成に対する地域住民の理解を深める取組を進めます。		
関連する市の計画等	第四次我孫子市子ども総合計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	あびこ子どもまつり		
	げんきフェスタ		
	手賀の丘宿泊事業		
	青少年相談員事業への支援		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	1,376	0	令和4年度 (年度末時点)	1.00	0.00	
令和5年度	当初予算額	1,373	0	令和5年度	4月1日時点	1.00	0.00
	補正後予算額	1,273	0		年度末時点	1.00	0.00
	決算額	830	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	手賀の丘宿泊事業の参加者数	人	目標値	64	64	64	64	64
			実績値	中止	中止	53		
活動 指標	我孫子市青少年相談員連絡協議会が主催する事業数	回	目標値	4	4	4	4	4
			実績値	4	3	3		
成果 指標	手賀の丘宿泊事業参加者アンケートにおける「参加してよかった」人数の割合	%	目標値	中止	90	90	90	90
			実績値	中止	中止	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	企画の規模に対して多くの参加があり、地域に根差したイベントであることが確認できました。企画内容や運営方法について、見直しを図ることもでき、次年度以降に反映します。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を縮小する	手賀の丘宿泊事業については、令和7年度以降廃止とします。それ以外の事業については、子どもたちが自分が生活する地域の中で、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	子どもの居場所づくり(あびっ子クラブ)	
	担当部署名	子ども部 子ども支援課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-4 心豊かにする体験・活動の推進	
	施策の展開内容	子どもたちが心豊かに成長できるよう、家庭・学校・地域・行政が連携しながら、さまざまな体験や活動に参加できる環境づくりを進めます。	
事務事業の目的 ・概要	放課後の子どもたちが安全に安心して遊ぶことができるよう、あびっ子クラブを運営するとともに、地域住民と連携してさまざまな活動の場を通して交流を図っていきます。		
関連する市の計画等	第四次我孫子市子ども総合計画 第二次我孫子市放課後子ども総合プラン行動計画 我孫子市学童保育室・あびっ子クラブ長寿命化計画		
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	あびっ子クラブの運営		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	あびっ子クラブ運営業務委託 R5年度 62,988千円		

2. 事業費及び人工 (Plan&Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	65,866	0	令和4年度 (年度末時点)		1.80	17.51
令和5年度	当初予算額	89,501	0	令和5年度	4月1日時点	1.80	12.32
	補正後予算額	87,630	0		年度末時点	1.80	12.32
	決算額	84,239	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan&Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	サポーターの登録数	人	目標値	200	160	165	170	170
			実績値	135	150	155		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	地域住民(サポーター)の方と連携しながら、子ども達が安全に安心して過ごせる居場所の一つとして事業を行いました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもの居場所の一つとして安全・安心な居場所、さまざまな体験機会ができる場として事業を運営していきます。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 子ども課 保育課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

1. 子育て中の親子が孤立することなく、地域の中で安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域や保護者の「子育て力」を育むため、子育て支援施設を核とした親子の交流、子育て相談、子育て情報、地域支援活動（出前保育）等さまざまな子育て支援施策を充実します。
また、保育園内に設置された子育て支援拠点施設と地域との連携をさらに密にすることで、地域の子育て力の向上を図り、多様な子育て支援事業を展開します。
2. 次期子ども総合計画の策定に合わせ「第三次我孫子市保育園等整備計画（改定版）」に基づき、保育園の待機児童ゼロ施策を堅持します。
3. 既存の保育園においては、児童が安全で安心して過ごせるように計画的に施設修繕・改修を進めます。そのため、つくし野保育園では、昭和53年に建設された園舎の老朽化に伴い、子どもの安全・安心な保育環境を確保するため、園舎の外壁補修や屋上防水工事を実施します。
4. 子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、利用の手続きの周知や事業の実施形態の変更など、利用者支援員の活用なども併せ滞りない事業運営に取り組みます。
5. 市内の保育園や認定こども園・幼稚園等と連携し、子育てと就労の両立支援策の充実を図るとともに、乳幼児期に質の高い保育・教育等の提供が受けられるよう指導・調整に努めます。さらに、育ちと学びの接続を重視し、幼児期教育と小学校教育との連携を推進します。
6. ファミリーサポートセンター事業運営及び病児病後児保育事業運営については、委託事業者と連携を密にし、より利用しやすい事業運営になるよう努めます。
7. 幼稚園の預かり保育を充実し、幼稚園での就労・介護などによる保護者支援を促進します。
8. 幼稚園児の安全な教育環境を確保するため、施設修繕の費用の一部を補助します。
9. 幼稚園から認定こども園等に移行するため、意向のあった幼稚園に対し支援に努めます。
10. 今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況や感染症対策本部の方針を踏まえ、感染対策に努めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、予定していた事業を滞りなく実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

在園児保護者をはじめ、子育て家庭の様々なニーズに対応しながら、滞りなく事業を実施することができたことを評価します。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

保育需要の増加に対応し、待機児童ゼロを堅持するためには、保育士確保が喫緊の課題となっていますが、全国的に保育士不足となっており、会計年度任用職員（保育士）の新規応募がないため、正規保育士の配置割合を高くすることが必要です。

1. 事業概要

事業名及び担当部署等	事務事業名	地域での子育て支援の充実	
	担当部署名	子ども部 保育課	
基本計画における位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的・概要	地域の中で安心して子育てができるよう、地域の人や事業者と連携し、乳幼児や保護者同士が交流できる場の提供や一時的に子どもを預けることができる制度など、ニーズに応じたさまざまな事業を行っていきます。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども総合計画		
当該年度実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	ファミリーサポートセンター事業の推進		
	一時預かり事業		
	企業参加の子育て支援		
	子育てサポーターの養成と地域活動の推進		
	利用者支援事業		
	子育て支援拠点事業		
	市立保育園の地域子育て事業		
	病児・病後児保育事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	ファミリーサポートセンター事業運営委託 R4~R6年度3,510千円		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	71,214	0	令和4年度 (年度末時点)	3.30	8.80	
令和5年度	当初予算額	77,864	0	令和5年度	4月1日時点	3.20	11.00
	補正後予算額	76,502	0		年度末時点	3.20	8.80
	決算額	66,950	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動指標	子育て支援センター利用者数	人	目標値	36,861	36,861	36,861	36,861	36,861
			実績値	22,100	29,641	36,936		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	地域の中で安心して子育てができるよう、様々な子育て支援を提供しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	保護者のニーズに寄り添い、必要な支援を提供していくことが引き続き必要になります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	未就学児の教育・保育環境の充実	
	担当部署名	子ども部 保育課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。 多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。 子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子どもを産み育てられるよう、保育ニーズに応じた人材の確保と保育の質の向上に取り組みます。 保護者の多様なニーズに対応するため、幼稚園などさまざまな子育てのための施設の利用者支援や延長保育に対する支援を行います。 		
関連する市の計画等	我孫子市子ども総合計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指：指定事務事業	休日保育事業		幼稚園における子育て支援事業の実施
	保育園・幼稚園の放射能対策		市立保育園園舎等補修事業
	産休・育休予約事業		世代間交流事業の促進
	市立保育園運営事業	指	つくし野保育園の老朽化対策
	私立保育園・管外保育園への保育実施委託		寿保育園高圧受電設備更新事業
	私立保育園運営費補助金交付事業		
	私立保育園等施設整備への補助		
	私立幼稚園の運営支援		
	障害児保育・統合保育事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業	休日保育事業委託 R4~R6年度 9,000千円		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	4,327,875	14,484	令和4年度 (年度末時点)	67.70	100.00	
令和5年度	当初予算額	4,246,264	0	令和5年度	4月1日時点	73.10	87.00
	補正後予算額	4,402,419	0		年度末時点	73.10	76.00
	決算額	4,341,028	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	保育園への入園を希望する児童の入園率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	必要な家庭に保育を提供し、安心して子育てができる環境を提供しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	保育需要が増加する中、現状通り推進するためには、保育士の確保が課題となっています。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 子ども課 子ども相談課

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

こども家庭庁の創設に伴い、「子ども家庭総合支援拠点」として事業を展開しながら、健康づくり支援課内の「子育て世代包括支援センター」との連携をより強固にし、「こども家庭センター」としての機能を発揮しつつ、子ども自身や保護者からの相談に的確な支援を行います。子どもの虐待に関する相談については、保育園や学校等子どもが所属する機関の他、関係機関と連携を取りながら迅速かつ確実な支援を行います。日ごろから関係機関と情報共有、連絡調整を行うとともに、「子ども虐待等防止対策地域協議会」において、支援の方針や方法の確認を行い、問題解決に向けて支援の進行管理を行います。また、子ども虐待防止についての啓発活動も進めます。

児童発達支援事業では、子ども相談支援事業所においてサービス利用の支援をするとともに、迅速に適切な支給決定を行います。

また、教育委員会と連携し、「いじめ防止対策連絡協議会」を開催して連携を図るほか、いじめによる重大事態が発生した場合、確実な対応を進めます。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示した通り、全取組を実施しました。また、令和6年5月に開始する「我孫子市公式LINEを活用した子ども・子育て相談窓口」の立ち上げに向けて準備を行いました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

令和4年2月に市内の男児が亡くなった事件について、令和5年9月に母親が傷害致死の疑いで逮捕されたことから、市の対応の在り方を見直し、令和6年度からの体制強化に向けて取り組むとともに、LINEを活用した相談窓口の立ち上げの準備を行いました。

児童発達支援事業は、申請者数、利用者数ともに増え続けていますが、滞りなく支給決定を行っています。

いじめ防止対策連絡協議会は、5月22日に対面で開催しました。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

「こども家庭センター」の設置に向け、健康づくり支援課と組織の在り方や指示系統についての協議を行い、令和8年度中までには設置できるよう準備を進めます。

子どもに関する相談がより気軽にできるよう、市の公式LINEを活用して子ども・子育て相談窓口を開設します。また、ヤングケアラー・コーディネーターを配置しヤングケアラーに対する相談支援を開始します。

児童通所支援事業利用者が増え続けているため、子ども相談支援専門員の養成も含め、サービス等利用計画の作成が滞らないよう、体制整備が必要と考えています。

1. 事業概要

事業名及び担当部署等	事務事業名	子ども総合相談の推進	
	担当部署名	子ども部 子ども相談課	
基本計画における位置づけ	基本施策名	3-1 妊娠・出産・子育てへの切れ目ない支援	
	施策の展開内容	安心して妊娠・出産・子育てができるよう、ライフステージに応じた切れ目ない支援に取り組みます。多様化する就労形態や市民ニーズに対応した保育・幼児教育の提供を行うとともに、ひとり親家庭への支援など、子育てしやすい環境づくりを進めます。子ども医療費の助成をはじめ、経済的な支援を充実します。	
事務事業の目的・概要	虐待、育児、不登校、非行、いじめ、健康、障害、教育など子どもに関するあらゆる相談に対して、児童相談所や学校、警察などの関係機関との連携を強化し、適切に対応できる体制の充実を図ります。		
関連する市の計画等	子ども総合計画		
当該年度実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	子ども短期入所事業		
	子ども総合相談の推進		
	指 いじめ問題対策連絡協議会等の運営		
	子ども虐待防止・援助活動の推進		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	3,993	0	令和4年度 (年度末時点)	5.00	2.92	
令和5年度	当初予算額	4,694	0	令和5年度	4月1日時点	4.60	2.92
	補正後予算額	5,057	0		年度末時点	4.29	2.95
	決算額	4,817	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動指標	虐待相談を含めた子どもに関する年間相談受付件数	件	目標値	600	700	750	750	750
			実績値	867	876	878		
成果指標	子どもに関する相談のうち、最終件数の割合	%	目標値	73	73	73	73	73
			実績値	80	80	81		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	令和4年2月に起きた事件を振り返り、当課として何ができるかについて検討をしました。今出来ることとして令和6年度からの体制強化やLINE相談窓口の準備を行い、これまでより細やかに進捗管理できるよう手法を変更しました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業を拡大する	引き続き関係機関と連携しながらネットワークで支援していきます。子どもに関する相談がより気軽にできるよう、市の公式LINEを活用して子ども・子育て相談窓口を設置します。また、ヤングケアラー・コーディネーターを配置し相談支援を行います。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	児童発達支援事業	
	担当部署名	子ども部 子ども相談課	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組めます。	
事務事業の目的 ・概要	発達に支援が必要な子どもが早期に適切な支援を受けられるよう、公平、適切、迅速に児童通所支援の利用可能日数の決定を行うとともに、そのための相談支援体制の充実を図ります。		
関連する市の計画等	子ども総合計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	児童発達支援事業		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	581,466	0	令和4年度 (年度末時点)	1.40	0.74	
令和5年度	当初予算額	574,563	0	令和5年度	4月1日時点	1.50	0.74
	補正後予算額	684,332	0		年度末時点	1.50	0.76
	決算額	674,463	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	児童相談支援支給決定者数	人	目標値	360	400	450	450	450
			実績値	456	489	543		
成果 指標	児童通所支援利用率	%	目標値	92	93	95	95	95
			実績値	93	93	94		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
順調	事業の申請者及び利用者ともに増加の一途をたどっていますが、療育を必要とする子どもに対し、手続きが滞ることなく迅速に支給決定することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	発達に支援が必要な子どもに適切なサービスを提供することで、日常生活への適応に効果的な役割を担っているため、引き続き推進します。

令和5年度 課の目標管理書

課 名 : 子ども相談課 こども発達センター

1. 課の目標（部の運営方針に基づいた取組方針）

○障害が確定されている子どもや発達に支援が必要な子どもが、健やかに成長するためには、早期からの療育的支援が必要です。そのために関係機関が連携し、1歳6カ月児健診、3歳児健診、5歳児健診、就学時健診及び子育て相談を実施することで早期発見に努め、個々のニーズに合わせた支援計画に基づいた療育支援を実施します。

○発達に支援が必要な子どもとその家族に対して、早期支援、家族支援、発達支援、地域支援の充実を図ります。

○第2期子ども発達支援計画に基づき、発達に支援が必要な子どもとその家族が乳幼児期から学齢期まで健やかで安定した生活が地域で送れるよう、療育・教育システム連絡会を通じて支援機関の連携を図り、ライフステージに応じた一貫した支援を提供します。

○第2期子ども発達支援計画の評価を行い、療育・教育システム連絡会を活用して、令和6年度からの第3期子ども発達支援計画の策定を行います。

○発達支援の専門性を活かして、地域の幼稚園及び保育園職員や民間児童通所事業所の訪問指導や、職員への研修会等を行います。

○ライフダイアリーを、多くの家庭で活用してもらうことができるように普及・啓発活動を行います。また、よりよい活用の方法について検討を行っていきます。

○あらかき園厨房からの給食の搬入方法について検討をします。

2. 課の目標への取組結果

課の目標で示したとおり、全取り組みを実施しました。

3. 取組結果に対する評価（所管する事務事業の取組を踏まえた評価）

感染症への感染防止を継続しながら、「第2期子ども発達支援計画」に基づき、子どもとその家族に対して、療育や相談の直接的支援を行いました。児童発達支援センターとしての大きな役割である地域支援は、オンラインやYouTube配信を活用し、事業の推進を図ることができました。また、「療育・教育システム連絡会」を活用し切れ目ない支援の検討と推進を行い、第3期子ども発達支援計画の策定を完了しました。

年間を通して、適正な事業の実施ができたと評価しています。

4. 今後の展開（改善や見直しが必要な点、事業など）

引き続き事業を着実に推進するとともに、保護者への支援としてのペアレント・プログラムや当事者同士の共有の場の支援、安心して地域の療育施設を利用できるように民間事業所へ支援の強化をする必要があります。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	切れ目のない発達支援体制の充実
	担当部署名	子ども部 子ども発達センター
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-2 子どもの成長に応じた発達への支援
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組みます。
事務事業の目的 ・概要	就学時などライフステージに応じた切れ目のない専門的な発達支援が行えるよう、医療、保健、福祉、教育分野のさらなる連携強化を図ります。	
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画、第5次行政改革推進プラン(子ども発達センターの業務手法の見直し)	
当該年度 実施事業(Plan) 指: 指定事務事業	子ども発達センター施設の維持管理	
	就学に関する相談・支援業務	
	療育・教育システムの構築	
	あらき園・子ども発達センター厨房施設あり方検討	
継続費設定事業		
債務負担行為設定事業		

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	7,992	0	令和4年度 (年度末時点)	1.36	0.66	
令和5年度	当初予算額	9,907	0	令和5年度	4月1日時点	1.40	0.70
	補正後予算額	9,994	0		年度末時点	1.40	0.80
	決算額	9,488	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	施設の維持管理、運営	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	子ども発達センターを利用する年長児童とその保護者に対して支援した割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	療育・教育システム連絡会の会議開催回数	回	目標値	3	2	3	2	2
			実績値	1	2	3		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	ライフステージに応じた切れ目のない発達支援を関係機関と連携を図り、事業を滞りなく実施することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	ライフステージに応じた切れ目のない発達支援を行っていくため、関係機関とのさらなる連携を強化すること、安全に療育を受けられるために施設維持管理は必要不可欠であることから、現状通り事業を推進します。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	地域と連携した子どもの発達への支援	
	担当部署名	子ども部 子ども発達センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組めます。	
事務事業の目的 ・概要	<ul style="list-style-type: none"> 子ども一人ひとりの発達に応じた、質の高い発達支援を実施するため、体制の充実を図ります。 発達に支援が必要な子どもが、状況に合わせた合理的配慮を受けてのびのびと地域のなかで生活できるよう、幼稚園や保育園、認定こども園、学校などにおいて、発達特性に対する理解や、困難を感じる環境を調整することへの理解を深める取組を進めます。 		
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	あそびの教室による早期支援		
	ケースワーカーによる相談・調整		
	言語聴覚士による相談・訓練		
	作業療法士による相談・訓練		
	理学療法士による相談・訓練		
	心理相談員による相談・訓練		
	児童発達支援事業所「ひまわり」による発達支援		
	相談支援事業所「なの花」の相談支援専門員による児童支援利用計画の作成		
	保育所等訪問支援事業所「おひさま」による発達支援		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	年度		人工	
				正職員	会計年度等		
令和4年度	決算額	19,272	0	令和4年度 (年度末時点)	13.36	18.89	
令和5年度	当初予算額	24,793	0	令和5年度	4月1日時点	12.50	18.60
	補正後予算額	25,097	0		年度末時点	13.10	18.60
	決算額	24,610	0				
	次年度へ繰越	0	0				

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	受理面接をした子どもとその保護者に対して支援をした割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
活動 指標	児童発達支援事業利用児の出席率	%	目標値	80	83	85	87	89
			実績値	80	84	85		
活動 指標	相談支援専門員による児童支援利用計画の作成数	件	目標値	550	560	570	575	580
			実績値	540	565	604		
活動 指標	保育所等訪問支援が必要な子どもに対して支援した割合	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	関係機関や地域等と連携を取りながら体制の充実を図り、子どもの発達に応じたきめ細やかな支援やその家族への支援を適切に行うことができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
現状通り推進する	子どもの発達過程や特性等に十分配慮した支援やその家族に対する支援を行うため、適切な個別支援計画の作成やサービス調整、関係機関との連携が必要です。子どもの成長に応じた切れ目のない支援を継続するため、今後も現状通り事業を推進していきます。

1. 事業概要

事業名及び 担当部署等	事務事業名	発達支援が必要な子どもの早期発見	
	担当部署名	子ども部 子ども発達センター	
基本計画における 位置づけ	基本施策名	3-2 子どもの成長に応じた発達への支援	
	施策の展開内容	家庭・保育園・認定こども園・幼稚園・学校や地域などと連携しながら、子どもの成長に応じた切れ目のない支援に取り組めます。	
事務事業の目的 ・概要	発達に支援が必要な子どもを育てる家庭において重要な保護者の「気づき」を促し、発達特性や障害への理解の促進と親子の愛着関係を育めるように家族への支援を行うとともに、発達に支援が必要な子どもの早期発見につながる取組を進めます。		
関連する市の計画等	我孫子市子ども発達支援計画		
当該年度 実施事業 (Plan) 指: 指定事務事業	ライフダイアリー普及事業		
	発達支援に関する専門職員の派遣		
継続費設定事業			
債務負担行為設定事業			

2. 事業費及び人工 (Plan & Do)

年度	区分	事業費(千円)	過年度繰越分 事業費(千円)	人工	
				正職員	会計年度等
令和4年度	決算額	282	0	令和4年度 (年度末時点)	0.40 / 0.10
令和5年度	当初予算額	363	0	令和5年度 4月1日時点	0.40 / 0.20
	補正後予算額	363	0		
	決算額	359	0	令和5年度 年度末時点	0.40 / 0.20
	次年度へ繰越	0	0		

3. 指標及び実績値 (Plan & Do)

種別	内容	単位	区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和9年度
活動 指標	ライフダイアリーの配布数	冊	目標値	760	760	760	760	760
			実績値	711	726	751		
活動 指標	幼児健診、子育て相談などにおいて、相談実施 件数	件	目標値	360	350	350	350	350
			実績値	410	345	367		
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

4. 事業に対する評価 (Check)

評価区分	評価についてのコメント
ほぼ順調	発達に支援が必要な子どもと障害のある子どもを早期に発見し、早期療育につなげ、子どもの発達支援や保護者の相談や支援を行い、保護者が安心して子育てができるように支援することができました。

5. 今後の方向性 (Action)

今後の方向性	理由及び今後の課題等
事業内容を見直す	ライフダイアリーの活用率が低いため、より活用していただくために配布対象を焦点化し様式を見直すことを検討しています。